

2018、JTU東北ブロック協議会、理事会・合同会議 議事録

<日時>

平成30年3月3日(土)

14:00～17:45

<場所>

岩松屋旅館、会議室

仙台市青葉区作並温泉元湯

<出席者>

蒲生光男	石川光次郎	大関辰郎	磯崎洋一	穂崎一豊
古桑 整	高橋伊万夫	青山栄市	辻 正美	加藤 寿
三上雅弘	中元靖貴	塩沼淳一	長山真理	高濱 康
森崎顧問	小林格也	和泉秀一	佐藤政人:大	阿部高之:大
川田治:山協	袴雄太:学	篠田JLA	今井JLA	金野有紗:岩

●<理事会>14:00～15:45 進行:大関理事長

開会の挨拶:石川光次郎 副会長

JTU事業企画委員長:「故水畑宏之氏のご冥福」をお祈りし黙祷

来賓の挨拶:JTU副会長:森崎顧問

議事

○事業計画

<大会開催の日程調整>、サーキット戦の開催、調整、各県協会認定記録等の日程調整が行われました。2018年度、各県に「サーキット広告」の掲載のお願いを致しました。

磯崎副理事長より2018年の「サーキット広告」にて調整されたサーキット戦・認定記録会・その他大会等の日程が掲載されています。(HP参照)

○<サーキット戦>担当穂崎副理事長より2018年度「東北トライアスロン・チャンピオンシップ実施要項」の説明が行われた、その中の表彰規定で「60台」「70代以上」で区分けすることに決まった。

今回大会が削られて2018「サーキット戦7戦」と少なくなるが、来年は多くなる可能性があるとのこと、ただ新規大会からのサーキット戦の参入の場合サーキット戦の明確な規定は距離的な規定はあるものの詳細な規定がない、そのため「この際決めた方がいいのではないか」との意見がでて、サーキット担当の穂崎理事長にサーキット戦の規定作成を一任された。

・2018年度のサーキット戦無料参加者対象者、発表される。

○各県の今年開催される福井国体の各県における選手選考大会が発表された。

岩手県:七ヶ浜大会、秋田県:芭蕉レース、山形県:おしんレース、福島県:未定、
宮城:七ヶ浜大会、青森県:鯨ヶ沢大会(後日連絡)が各県の選考大会となる。

○＜東北選手権＞男子：みなと酒田トライアスロンおしんレース、女子選手権：うつくしまトライアスロン IN あいづ、県別対抗戦：秋田トライアスロン芭蕉レース、の確認が行われた。

○＜2018日本選手権＞出場資格について蓮沼強化委員長不在のため、当日事務局：和泉に送信されたメールの内容を読み上げるかたちとなる。

- ・男女各1名、2018年12月時点において18歳以上であること、
- ・認定記録会に参加（2017、10月～2018、6月まで間）
- ・男子：酒田トライアスロン大会1位。・女子：うつくしま大会1位とする。

評価対象大会として、男子：うつくしま大会、女子：酒田トライアスロン大会とする。内容としてはほぼ昨年同様となり、全員一致にて承認されるかたちとなる。

後日、蓮沼強化委員長からのメール（選考基準案）を各理事に転送するかたちをとる。

○JLA 認定「BLS の更新、取得」、2016年JTUとJLAのパートナーシップ締結について、「審判員、BLS取得」をトータルパッケージとして進めていきたい旨を言われた（和泉）
また、海上における心肺蘇生等の講習も福島にて予定、東北ブロックとしてもJLAとの結びつきを深めて各トライアスロン大会等のサポートを進めていきたい、（大関理事長、中元理事）、合同会議にてJLAサイドの講話

その他

○高橋副理事長

福井国体に向けて各県の代表となった選手の強化合宿をやって頂きたいとの意見を言われたが、東北ブロックとしても以前から応援し、予算化しているが、今回は選手強化委員長、副委員長が欠席で今の時点では不透明である。ただ要請があれば応援したい。

○新年度に於いて各県の事務局の変更等ありましたら、当東北ブロック事務局：和泉に連絡するようお願いしたい。（山形県・福島県変更あり後日連絡）

●＜合同会議＞16：00～17：45 進行：高橋副理事長

開会の挨拶：蒲生会長

「蒲生会長、穂崎副理事長、高濱康理事」、退席のため、次第に順不同で進行する。

○穂崎副理事長

＜2018年東北サーキット戦＞

- ・大会開催日程の開催、サーキット戦（7大会）の確認・実施要項の説明が行われました。
- ・2018年サーキット戦大会無料参加対象者の発表をされました。

○来賓の挨拶、JTU 森崎副会長、

○各役員、理事、大会関係者

各人の自己紹介、各担当大会の2018年の説明・現状を話された。

○＜パラトライアスロンについて＞：川田治；山形県協会

障害者のスポーツに対しての偏見があり、日本に於いては2団体：日本体育協会、日本障害者協会の2つに分かれているが、他国・先進国では各種スポーツという大きいカテゴリーの中に健常者・障害者と別れているにすぎず、日本のように障害者を大きな括りとみなし特殊扱いはしていないのである。

JTU：日本トライアスロン連盟は日本でも唯一、オリンピック、パラリンピックも同一連盟内に加盟しており、障害者を特殊に扱っていない団体である。

そんな意味合いも含め、もっとこのJTU東北ブロック協議会内の東北大会に於いて、障害者をもっと各大会で受け入れ体勢を取って頂きたい旨を言われました。

○JTU、JLAの2016年3月16日に締結したパートナーシップ協定について、また安全体制の構築について事例を出されて話された、最後にお互いの全国組織での交流を促進させていきたい旨を言われた。(JLA：篠田)

○事務局より大会パンフレットに東北ブロック協議会作成の「サーキット広告」掲載の依頼、認定料として東北選手権、東北女子選手権ともに¥20000、県別対抗戦、¥10000
また大会の規模により協力金も発生するので、お願いしたい旨をいわれた。

○大会の無料参加はサーキット戦対象者+認定記録会結果の選手となる確認。

○安全対策基準としてJTUは今後大会の具体的な基準案を示すので東北ブロック協議会としても注視して発表されたらHPには掲載していく意向である。

○閉会の挨拶：磯崎副理事長

閉会